

転移性腎癌に対する薬物療法と予後予測因子の臨床的検討 へのご協力をお願い

1. 研究の対象

2008年1月1日以降 2022年12月31日までの期間に転移性腎癌に対して免疫チェックポイント阻害薬および分子標的薬を使用した症例を対象とします。

2. 研究目的

転移性腎癌に対する薬物療法は現在数種類存在しておりどの薬物療法を先行させるのが患者の利益が大きいかはまだ未解明です。当院における治療の成績や問題点を検討して、今後の臨床に生かしていきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

腫瘍組織型、転移部位、血液画像検査結果、合併症、治療経過、等。カルテの記載内容ならびにデータから情報を収集します。

なお、この研究は学会あるいは論文として発表される予定があります。研究については当院倫理委員会の承認を得ています。

4. 個人情報の取り扱いについて

患者さんの病理組織、測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者と分担研究者の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都第一赤十字病院 泌尿器科

清水 輝記 075-561-1121(代)